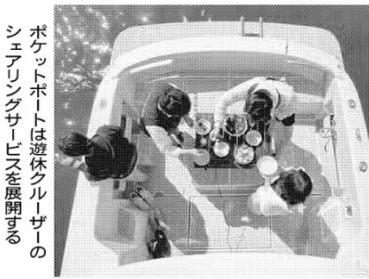


海上タクシーやクルーザーシェア



海上タクシーの内部は広く快適で、子どもたちにも好評だ



ポケットボートは遊休クルーザーのシェアリングサービスを展開する



YOKOSUKA 軍港めぐりでは軍艦を間近で観覧できる

海の魅力、手ごろな価格で

週末は潮風に吹かれながら船上で乾杯……。こんな観光スタイルが家族連れなどを中心にじわりと広がっている。バブル期をほったらかしにせるような風景だが、神奈川・湘南エリアなどでは海上タクシーや遊休クルーザーのシェアリングなど一般の人も手ごろな価格で海の魅力を感じられるサービスが登場している。話題の現場を追った。

「風が気持ちいい」「貸れる体験をさせたいとし切りなでせたい」。「湘南クルーシング」快晴に恵まれた今年の「でインターネット検査」でインポートネット検査したと、東たごえ、海上タクシー、京都杉並区在住の本田誠のサイトに行き着いたと二さん一家は、観光客で。今年3月に開業したS HONAN江の島棧橋子どもたちに海を感じら（藤沢市）からリビエラ

湘南エリア・横須賀

家族連れ・外国人に的

返子マリナ（返子市）までの往復で大人5000円、子ども（小学生）は3000円。家族4人で1万6000円するが「ほかのクルーズツアーよりも手ごろだった」（本田さん）という。本来は定員8人の乗り合いだが、まだサービスが広く知られていないのか、乗船当日は貸し切り状態だった。下船しただけで、海辺のレストランでランチを楽しんだ。クルーザーは小型でも本体価格は数百万円以上する。保留費やメンテナンス代、燃料費なども考

えると富裕層のせいだと品と思われがちだが、遊休クルーザーのシェアリング事業を手掛けるポケットボート（横浜市）の三宅剛平社長は「クルーザーのほとんどは年に数回程度しか活用されていない」と指摘する。三宅社長は大学時代、船の修繕のボランティアをしたことをきっかけに「クルーザーに親しんだことのない若い世代にも楽しさを知ってほしい」と2022年に同社を立ち上げた。利用者はネット予約すると、13万2000円（定員18人）で3時間ほどのクルーシングを満喫できる。船長が同行するため、船舶免許は必要ない。誰もいない静かな入り江で

地場産品を使った食事やスタンダードアップパドルボード（SUP）などのアクティビティを乘しめる。三宅社長は「企業での懇親会や家族の集まりなどで活用してほしい」と期待する。国際展示場「パシフィコ横浜」（横浜市）を運営する横浜国際平和会議場（同）は1月、横須賀市と観光振興に関する包括連携協定を結んだ。イベントや国際会議などの「MICE」に参加する外国人を対象に海の魅力を伝える企画を練る。5月中旬には第1弾として、海軍港として発展してきた横須賀港を周遊する「YOKOSUKA 軍港めぐり」を盛り込んだツアーを企画した。通訳を雇って参加したという台湾の男性は「来日は初めてだが、とても素晴らしい」と満足げ。横浜国際平和会議場は「今後はパシフィコ横浜近郊の棧橋からのクルーズなども企画したい」とする。マリナは会員限定の施設として運営してきた経緯から一般的に公共交通機関が乏しく、PR活動が浸透しきれていない面もある。地域のバスや鉄道会社との連携を深め

（松原礼奈）